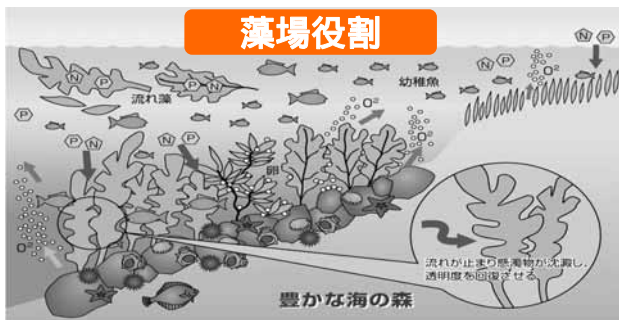


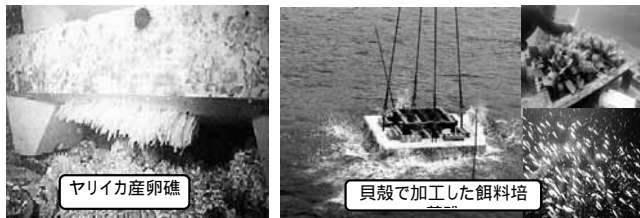
### 藻場役割



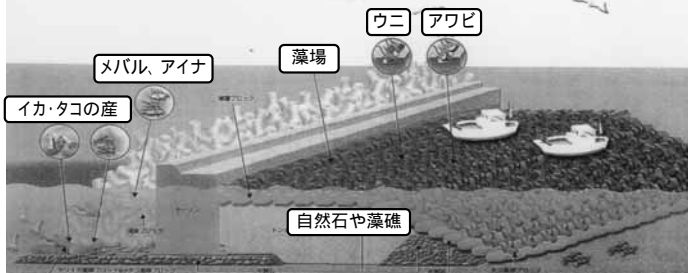
### 干潟の役割



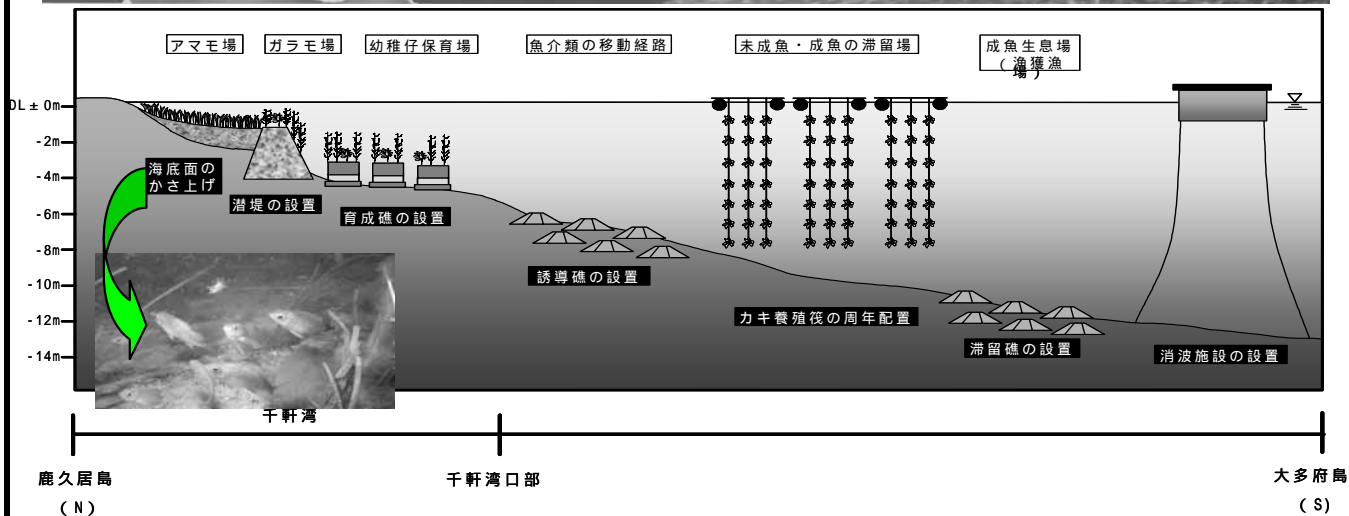
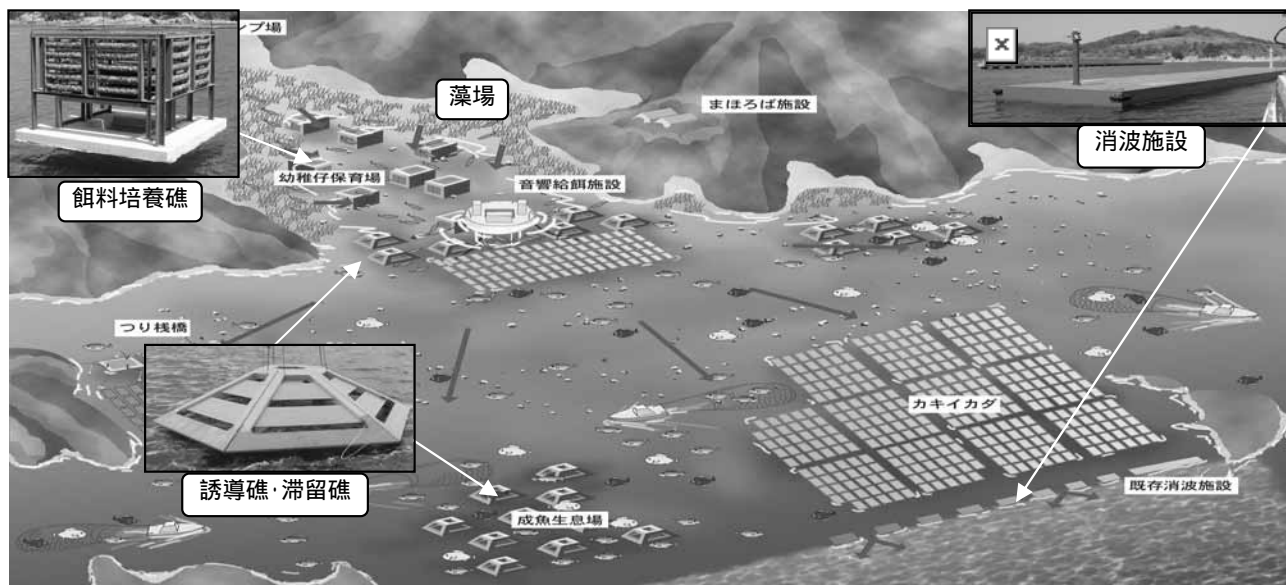
### 産卵礁・餌料培養礁の事例



### 自然環境に配慮した漁港整備



### 瀬戸内海関係地域での実施事例(岡山県東備地区)



No	41	No(再掲)	57
該当箇所番号	3 - 3 - 1 -	該当箇所番号 (再掲の場合)	3 - 8 -

施策名	瀬戸内海環境修復計画の概要
-----	---------------

担当部局	国土交通省港湾局環境整備計画室、水産庁漁港漁場整備部計画課
------	-------------------------------

施策の概要	<p>過去に策定された「瀬戸内海における港湾及び海域の環境保全・創造の基本的考え方(旧運輸省)」や「瀬戸内海環境保全基本計画(環境省)」等においては、過去に失われた環境の修復の必要性が謳われているものの、いずれも具体的な事業計画の提案まで踏み込んでいないこと、また、環境修復のみを目的とした事業は、その効果を定量的に評価することが容易でないことより、十分に進められていないのが現状となっています。</p> <p>このような背景から、国土交通省中国地方整備局及び水産庁漁港漁場整備部は、2ヵ年をかけて国土総合開発事業調整費(調査の部)により瀬戸内海の環境修復の方法について検討を行い、現時点での技術レベル等を踏まえ、将来瀬戸内海全体で効率的・効果的に環境修復事業を進める上での課題抽出及び解決のためのケーススタディを目的として、関係省庁の連携による、浅場(干潟・藻場等)の修復を目的とした具体的な事業計画モデルの検討を行いました。</p> <p>計画のアウトプット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浅場(干潟・藻場等)の修復目標量の設定</li> <li>瀬戸内海全域で平成16年度より今後20年間で干潟・藻場等の面積を約600haを修復する。</li> <li>湾・灘別の環境特性・課題の整理と対応方策の設定</li> <li>湾・灘別の環境修復目標の設定方法の設定</li> <li>浅場(干潟・藻場等)修復計画手法の設定</li> <li>環境修復計画における合意形成手法の設定</li> <li>瀬戸内海における環境修復の効率的な推進手法の設定</li> </ul>
-------	---

瀬戸内海関係地域での実施事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイロット事業の実施【大島干潟造成を推進】 徳山下松港新南陽地区多目的国際ターミナル整備事業における泊地浚渫工事で発生する土砂を有効活用し、港湾部局と水産部局とが連携し、アサリの生育場として継続的に活用できる干潟の整備を行う。 (港湾部局) 潜堤、土砂投入及び投入土砂の流出防止策 (水産部局) 水産振興策及び維持管理</li> <li>・シンポジウム、環境学習などによる啓蒙活動の推進</li> </ul>
----------------	--

進捗状況を示すデータ													
項目1									単位		対象地域		
年度													
項目2									単位		対象地域		
年度													
項目3									単位		対象地域		
年度													